

実数  $t$  の関数

$$F(t) = \int_0^1 |x^2 - t^2| dx$$

について考える.

- (1)  $0 \leq t \leq 1$  のとき,  $F(t)$  を  $t$  の整式として表せ.  
 (2)  $t \geq 0$  のとき,  $F(t)$  を最小にする  $t$  の値  $T$  と  $F(T)$  の値を求めよ.

(22 東北大 文系 2)

【答】

- (1)  $F(t) = \frac{4}{3}t^3 - t^2 + \frac{1}{3}$   
 (2)  $T = \frac{1}{2}$  のとき,  $F\left(\frac{1}{2}\right) = \frac{1}{4}$

【解答】

$$F(t) = \int_0^1 |x^2 - t^2| dx = \int_0^1 |(x+t)(x-t)| dx$$

- (1)  $0 \leq t \leq 1$  のとき

$$F(t) = \int_0^1 (x+t)|x-t| dx$$

$t$  は積分区間  $0 \leq x \leq 1$  内にあるから

$$\begin{aligned} F(t) &= \int_0^t (t^2 - x^2) dx + \int_t^1 (x^2 - t^2) dx \\ &= \left[ t^2x - \frac{x^3}{3} \right]_0^t + \left[ \frac{x^3}{3} - t^2x \right]_t^1 \\ &= 2 \left( t^3 - \frac{t^3}{3} \right) + \left( \frac{1}{3} - t^2 \right) \\ &= \frac{4}{3}t^3 - t^2 + \frac{1}{3} \end{aligned}$$

……(答)

である.

- (2)  $t \geq 0$  のとき,  $t$  が積分区間に  $0 \leq x \leq 1$  にあるか否かで場合分けする.  
 $0 \leq t \leq 1$  のとき, (1) より

$$F(x) = \frac{4}{3}t^3 - t^2 + \frac{1}{3}$$

であり,  $0 < x < 1$  のとき

$$F'(t) = 4t^2 - 2t = 2t(2t - 1)$$

である.

$t \geq 1$  のとき

$$F(t) = \int_0^1 (t^2 - x^2) dx = \left[ t^2x - \frac{x^3}{3} \right]_0^1 = t^2 - \frac{1}{3}$$

であり, 単調増加である.

よって、 $t \geq 0$  における  $F(t)$  の増減は下の通りである。

$t$	0	...	$\frac{1}{2}$	...	1	...
$F'(t)$		-	0	+		+
$F(t)$		↘	$\frac{1}{4}$	↗	$\frac{2}{3}$	↗

よって、 $F(t)$  は

$$T = \frac{1}{2} \text{ のとき、最小値 } F\left(\frac{1}{2}\right) = \frac{1}{4}$$

……(答)

をとる。